



平成30年11月8日

各 位

会社名 新田ゼラチン株式会社
代表者名 代表取締役社長 尾形 浩一
(コード番号：4977 東証第一部)
問合せ先 取締役執行役員 長岡 令文
管理本部長
電話番号 072(949)5381

営業外収益の計上及び平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値との差異並びに通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

平成31年3月期第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)において、営業外収益(為替差益)の計上を行うとともに、平成30年5月17日に公表いたしました平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また、第2四半期累計期間の実績等を踏まえ、平成31年3月期通期連結業績予想値についても下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 営業外収益(為替差益)の内容

当社は、平成31年3月期第2四半期連結累計期間(平成30年4月1日～平成30年9月30日)において、為替差益149百万円を営業外収益に計上いたしました。

これは主として当社グループが保有する外貨建資産負債を当第2四半期末時点における為替相場で評価替えをしたことにより発生したものであります。

なお、上記は平成31年3月期第2四半期末時点の為替差益であり、今後の為替相場によりこの額は変動いたします。

2. 平成31年3月期第2四半期(累計)連結業績予想値と実績値の差異

(平成30年4月1日～平成30年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 19,000	百万円 600	百万円 500	百万円 600	円銭 32.66
当期実績(B)	18,010	428	594	1,253	68.21
増減額(B-A)	△989	△171	94	653	
増減率(%)	△5.2	△28.5	18.9	108.9	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成30年3月期第2四半期)	18,623	530	605	344	18.74

差異の理由

売上高、営業利益は、製菓・調理向けゼラチン及び美容用途へのコラーゲンペプチド等の販売が伸び悩んだことにより、前回予想を下回りました。一方、経常利益は、1. 営業外収益（為替差益）の内容に記載のとおり、為替差益を計上したことに伴い前回予想を上回りました。

また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、特別利益（主に、事業分離における移転利益及び持分変動利益）の計上により前回予想を上回りました。

3. 平成 31 年 3 月期通期連結業績予想値の修正（平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 38,200	百万円 1,300	百万円 1,100	百万円 900	円銭 48.98
今回修正予想 (B)	37,100	1,200	1,000	1,400	76.20
増減額 (B - A)	△1,100	△100	△100	500	
増減率 (%)	△2.9	△7.7	△9.1	55.6	
(ご参考) 前期実績 (平成 30 年 3 月期)	37,777	1,095	1,009	△615	△33.50

差異の理由

第2四半期連結累計期間の実績値及び今後の経営環境等を勘案し、売上高、営業利益、経常利益は当初予想を下回る見込みとなりました。

一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、第2四半期連結累計期間までに特別利益（主に事業分離における移転利益及び持分変動利益）を計上したこと等により当初予想を上回る見込みとなりました。

注) 本資料に記載の予想数値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上